特集　地域の人々に昔も今も愛される

谷中如意輪観音

【やなかにょいりんかんのん】

悠久の時が流れても
その荘厳さを
今なお、たたえ続ける――。

数々の武将たちが群雄割拠した戦乱の時代。鎌倉幕府討伐に兵を挙げた新田義貞（にったよしさだ）に付き従い、日々の戦いに身を投じた中野城三代城主、中野藤内左衛門景春（なかのとうないざえもんかげはる）。景春のかぶとの守り本尊で持仏であったのが、谷中如意輪観音と言い伝えられています。足利方との激戦のさなか、総大将の義貞が戦死。景春も後を追うように自害して果てます。夫の死を知った奥方は仏門に入り、殉死した景春のため谷中如意輪観音に日々祈りをささげ続けたのでした。

町民のみなさんの「笑顔があふれるまち」それが私の理想です

金子正一 町長

かねこ まさかず ●1942年のうま年生まれ。町政に対する姿勢は、「真面目にまっすぐに、まちづくり」。趣味は、ウオーキングなど。

あけましておめでとうございます。町民のみなさんにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、まちづくりへの温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

笑顔で暮らせるまちづくり

昨年は、「子どもからお年寄りまで笑顔で暮らせるまちづくり」を目標に事業を進めてきました。老朽化した長柄幼稚園と中央児童館の本格的な改築工事も始まり、高島幼稚園の改築工事の設計にも着手。教育環境の充実に取り組みました。

近年、国際化がますます加速していく中で、英語教育の充実が重要です。今後はＡＬＴ（英語指導助手）の増員も視野に入れていきたいと考えます。

未来に向けた取り組み

事務事業の効率化により、新たな行政サービス体制を構築することが、今求められていると私は考えます。

そこで４月からの実施に向けて機構改革を行います。これは、①危機管理体制を充実させ、②子育て世代のさらなる支援を行い、③高齢者社会に対応した行政サービスを図ることに力点を置いています。

①について▶安全安心課を新設

複数部署に分かれる住民生活の安全安心に関わる組織を一元化し、危機管理体制の充実を図ります。

②について▶子ども支援課の新設

町民のみなさんに身近に感じてもらえる行政サービスを――。

子どもたちのための施策を総合的に推進し、行政事務も一元化します。

③について▶健康福祉課を新設

保険年金課と福祉課の一部の事業を統合し、健康・福祉の部署を統括。高齢者社会へ対応した事業を展開します。

また、産業振興課を農業振興課と商工振興課へと再編し、本町の二大基幹産業である農業、商工業の強化を図ります。さらに、住民課に国民健康保険係を移し、手続の利便性を高める体制も整えます。

おうらの魅力を発信する

冬を迎える頃、邑楽町は白鳥が数多く飛来します。おうら中央公園「やすらぎの池」では、白鳥がその羽を休め、多々良沼やガバ沼などでも数多く観察できます。シンボルタワーからは、赤城・榛名・妙義の上毛三山を望み、晴れた日には関東平野はもとより、遠く富士山や筑波山まで一望できる、穴場スポットになっています。

一方で、この地域は昔から粉食文化が根付いています。そばやうどんに代表される粉食文化は、わが町の誇れる観光資源。こうした観光資源の有効活用や、ＰＲ活動も地域活性化のキーポイントになってくると思います。

誠実に行政運営を進めます

今後も町民のみなさんのご協力を得ながら、安心して笑顔で暮らせるまちづくりのため、誠実に行政運営を進めていく所存です。結びに、本年が町民のみなさんにとって、健康でよりよい年となりますよう祈念申し上げます。本年もよろしくお願いします。